

講義名	経済学入門(商学部)			授業形態	
担当教員	亀井 大樹	開講期・曜日・時限	後期 月曜日 1 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生

主題と概要

現代の我々は「経済」なしには生活できません。例えばコンビニエンスストアであにぎり1個をかうにしても、価格がつけられています。あたりまえのことかもしれませんが、ではあにぎり1個の価格がどのように決まっているのでしょうか？皆さんが義務教育で習ったであろう中学校の公民教科書で該当箇所からキーワードを拾ってくと、「市場」「市場経済」「価格」「需要量」「供給量」、これらのキーワードだけで説明できそうです。しかしそれだけでは不十分です。上のキーワードだけでは説明できない経済上の重要な概念もあります。たとえば一個の経済活動の規模をどのようにはかるのでしょうか？

本講義では「経済」の基礎的な仕組みについて学びます。経済学には「ミクロ経済学」と「マクロ経済学」と大きく分かれていますが、本講義の前半は「ミクロ経済学」、後半では「マクロ経済学」を取り上げます。

到達目標

- 【第1段階】 意欲・態度に関する目標
- 目標1 メインストリームメディアで経済に関するニュースを毎日接する。
 - 目標2 メインストリームメディアで経済に関するニュース1つを取り上げる。
- 【第2段階】 知識に関する目標
- 目標3 中学公民、高校公共・政治経済レベルの概念を説明できるようになる。
 - 目標4 ミクロ経済学とマクロ経済学の基礎的な概念を説明できるようになる。
- 【第3段階】 表現に関する目標
- 目標5 経済に関するニュースを授業でならった理論が背景にあるのか特定できるようになる。
 - 目標6 経済に関するニュースを授業でならった理論で説明できるようになる。

提出課題

ミニッツペーパーと確認テストがあります。

ミニッツペーパー

- 授業内容に関する感想、質問、不明点を記述します。
- 提出にはスマホ、タブレット、パソコン等の電子機器を用います。スマホ、パソコンを持参してください。提出期限が守れない場合は未提出扱いとなります。提出期限の延長はいかなる要望にも応じません。

確認テスト

- テーマの切りのいいところで、授業中に数回確認テストを行います。
- 提出にはスマホ、タブレット、パソコンを用います。スマホ、パソコンを持参してください。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

- ミニッツペーパー
- 提出したミニッツペーパーにおける感想、質問、不明点は翌週以降の授業スライドで回答します。
- 確認テスト
- 翌週以降の授業スライドで講評します。

評価の基準

- 【平常点】 20%
- 授業への参加度（受講態度）およびミニッツペーパーでの質問や感想内容で評価します。
 - 私語や他の受講生の迷惑になるような行為は厳に慎んでください。
 - 授業中に私語がない場合、授業協力点として、全量に「(+)」を付与することがあります。
 - 提出にはスマホ、タブレット、パソコンを用います。スマホ、パソコンを持参してください。提出期限が守れない場合は未提出扱いとなります。提出期限の延長はいかなる要望にも応じません。
- 【確認テスト】 20%
- テーマの切りのいいところで、授業中に数回確認テストを行います。
- 【定期試験】 60%
- 学期末定期試験を行います。
 - ただし成績評価は平常点、確認テスト、定期試験を中心に総合的に勘案して行います。
- 成績評価の方法は初回の授業で説明します。

履修にあたっての注意・助言他

- 【受講のルール】
- 食事（がむも含む）は厳禁です（水分補給のための飲み物は認めます）。
 - 受講中のイヤホン着用は厳禁です（ただし聴覚等に障害がある場合は認めます）。
 - 他の受講生に迷惑がかかるので、講義中の私語は厳禁です（ただし討論を行う時はこの限りではありません）。
 - ミニッツペーパーで私語による言語があれば、受講から予告なしに退席指定を行うことがあります。
 - 特に授業中に私語がない場合、授業協力点として、全量に「(+)」を付与することがあります。
 - 他の受講生に迷惑がかかるので、授業中に携帯電話やスマホの着信音やチャタター音を鳴らさないようにしてください。
 - スライドをスマホで静止画撮影するのは認めますが、その場合、マナーカメラ等のアプリを使用してください。
 - 動画撮影は認めません。
 - 障害のある生徒がいれば申し出てください。

教科書

.使用しない。					
---------	--	--	--	--	--

参考図書

.マンキュー入門経済学(第3版).	N・グレゴリー・マンキュー	東洋経済新報社	3300	978449231521
.ケンブリッジ式 経済学ユーザーズガイド: 経済学の95%はただの常識にすぎない.	ハジユン チャン	東洋経済新報社	1980	978449231460

その他

- 【配布資料】
- 配布資料は授業時に適宜配布するか、必要に応じてポータル等にアップします。
 - 【参考文献】
 - 参考文献は授業時に適宜指示しますが、全体のおとしての文献として中学校の公民、高校公共・政治経済の教科書をあげておきます。ただし改めて買い直す必要ありません。

授業計画

- 第1回：オリエンテーション
- 第2回：経済学とはどのような学問なのか。
- 第3回：経済学にはいくつもの学流が存在する。
- 第4回：経済学の基本原理
- ミクロ経済学
- 第5回：市場には種類がある。完全競争市場と不完全競争市場のちがい
- 第6回：市場のメカニズム 需要
- 第7回：市場のメカニズム 供給
- 第8回：市場のメカニズム 需要と供給の均衡
- 第9回：政府の政策
- 第10回：消費者、生産者、市場の効率性
- 第11回：市場の失敗と外部性
- マクロ経済学
- 第12回：ミクロ経済学とマクロ経済学はどちらの方が
- 第13回：GDPとは
- 第14回：名目GDPと実質GDPのちがい
- 第15回：全体のまとめ
- 学期末定期試験

- なお授業テーマについては、学生の理解状況にあわせて、変更・調整される場合があります。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- 【予習】 2時間
- 新聞などのメインストリームメディアに接して、経済だけでなく政治、社会問題に関するニュースに触れておく。
- 【復習】 2時間
- 毎回のスライドで提示した到達目標を達成できるようにしておく。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本講義を受講することで、「流通科学大学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力」のうち、「(2)知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材」と「(3)創造力（新しい視点と豊かな発想）を持った人材」に寄与することができるようになる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

- 【ICT活用】
- ミニッツペーパーの回収はスマホ、タブレット、パソコンを用います。スマホ、タブレット、パソコンを持参してください。

実務経験の有無及び活用

なし。

備考

特になし。